

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第 105 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 105 回 : 2020 年 9 月 30 日 (水) 13:30~16:00

2. 場所 Web 開催 (Webex)

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本 (和) 幹事, 佐藤 (吉), 牟田, 石田, 岩谷,  
菅原, 橋本 (望), 不破 (池田委員代理), 佐藤 (輝), 三橋, 小森, 塩田  
(14 名)

(常時参加者) 友澤, 藤崎, 笠原, 丹野 (4 名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-105-1 第 104 回 L1PRA 分科会議事録

P4SC-105-2 人事について

P4SC-105-3-1 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 基準案

P4SC-105-3-2 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 指針案

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 14 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。  
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第 104 回議事録の確認

資料 P4SC-105-1 を用いて, 第 104 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡  
いただくこととし, 特になければそのまま正式版とすることとなった。

(3) 人事について

資料 P4SC-105-2 により, 二木委員 (東京電力ホールディングス) の委員退任が報告され  
た。

(4) L1PRA 標準統合性能化

資料 P4SC-105-3-1 及び 3-2 により, L1PRA 標準統合性能化案について検討した。主な議  
論は次のとおり。

- ・基準案・指針案には、現行標準のとおり「検証」等の QMS 用語と誤解する用語が用いられているが、PRA では QMS での validation や verification とは異なる意味を持つため、関連する用語を修正し、その経緯を基準案にある用語の解説に追加する。
- ・定量化におけるカットセットの打切り値に関する実務での状況を適宜確認し、指針案の当該附属書での規定振りを再確認する。
- ・基準・指針の二部構成とした場合の各々の改定頻度に関し、基準に関しては従来からの定期的な確認に応じて改定要否を判断していくこと、指針に関しては手法の進展等に対応した柔軟な改定が望まれることなどを意見交換した。また、現行のパラメータ推定実施基準は、指針相当が適切であることを確認した。

(5) 中間報告に向けた対応について

次回 11 月予定のリスク専門部会において、基準案・指針案の中間報告を行う方向で準備を進める。基準案・指針案に関して規定振りのバランス等を含めた調整を行い、合わせて関連する意見・コメントを 10 月 16 日目途に事務方まで送付し、調整結果・コメント反映等を次回分科会で集約していくこととする。

(6) スケジュール, その他

次回分科会は 10 月 27 日 PM で web 開催の予定とする。

以上